

⑤交通円滑化

福岡県

一般国道210号 浮羽バイパス

平成22年2月27日開通

供用区間の延伸により一般道の交通環境が改善

- 平成22年2月に殖木～船越間の約1.2km区間が供用しました。
- その結果、約11km区間が連続走行可能となり、バイパスの利便性がますます高まりました。
- バイパス利用交通量は順調に増加し、現道の利用交通量は減少。
- 特に現道の大型車交通量が大幅に減少。
- 沿線地域の方から、生活道路を走行する車両が減少し、安全性が向上したとの声も聞かれます。



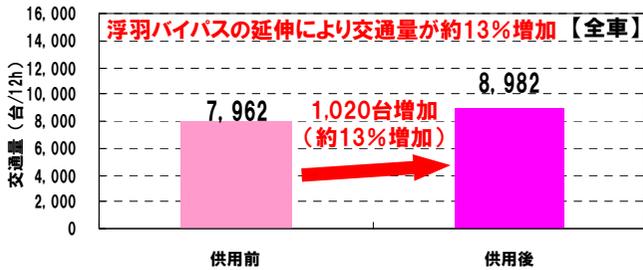
▲ 位置図



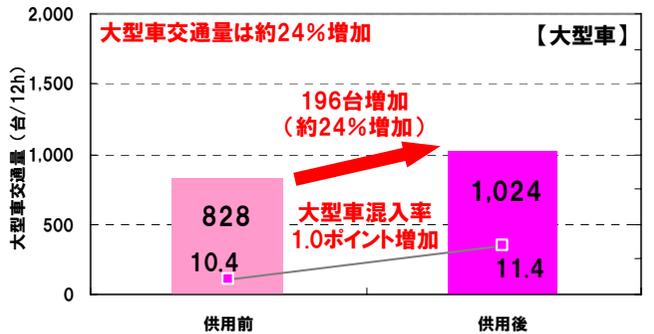
▲ 国道210号浮羽バイパスの概要図

浮羽バイパス_A断面

供用前:H20.11、供用後:H22.3
資料:H20、21年度実態調査結果



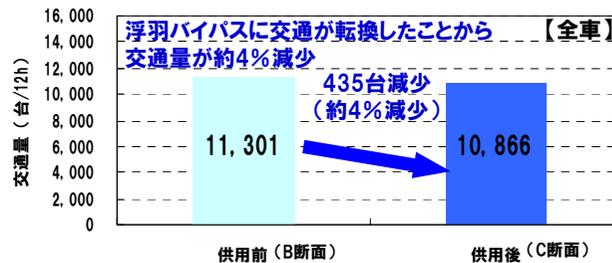
▲ 鷹取交差点東側断面における交通量の変化



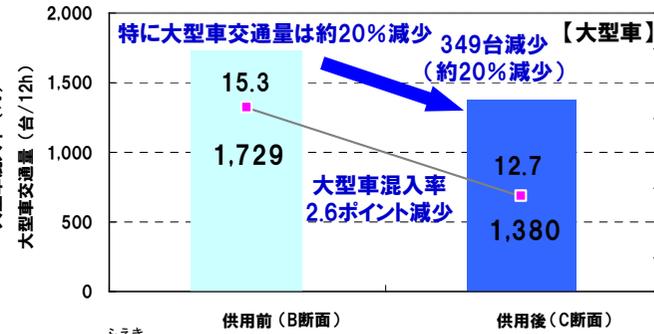
▲ 鷹取交差点東側断面における大型車交通量の変化

国道210号(現道)_B・C断面

供用前:H20.11(B断面)、供用後:H22.3(C断面)
資料:H20、21年度実態調査結果



▲ 殖木交差点東側断面における交通量の変化



▲ 殖木交差点東側断面における大型交通量の変化

<地域からの声>

- バイパスが延伸したことにより、学校横の市道の交通量が減少し、安全性が向上した。
- また、32名(約3割_全校生徒117人)の児童が通学時に安全面を危惧している国道210号から歩道が広く安全なバイパスを通学できるようになり安心してしています。



A小学校教頭

【整備前】
国道210号(現道)



【整備後】
浮羽バイパス



▲ 安全な歩行空間の確保